

魁 ニ ュ ー ス

明けまして おめでとうございます。

昨年中は格別のお引き立てを賜わり誠にありがとうございました。本年も何卒よろしく
お願い申し上げます。

昨年日本経済は4年以上続いた好況が4月～6月にかけて屈折点を迎え下降を始めました。政府機関や日銀が底堅いと表現する景況判断が今ひとつピンと来ず不可思議に思っていました。この度の景気の冷えこみは東京や大阪の方が早く地方が遅れているという従来とは逆のパターンになっていることから国内を総合して判断すればそのようなことが言えなくもないのかなと思います。しかし不動産、銀行、証券は惨憺たる有様な上、設備投資の冷込みから建設、機械、弱電も受注が落ち込んでおり消費経済に於いても自動車の新車販売の不振やデパートの売上などに景気がかなり悪くなってきていることが現象として表れております。いざなぎ景気を超える大型景気にしたい為に実情を無視したところがあったようで3～4月頃にこのへんのところは明らかになるでしょうが、済んだことの話をするようなものですからどうこう言うことでもありません。

しかしこれから景気はもっと悪くなって深刻な不況がやってくるのか又は本年末ごろには底をうって徐々に上向いて回復していくのか、景気の見通しについては深い関心があります。望むところは後者の本年末頃からの回復ですが、仲々今回はそう早くには回復しないのではないかと。大不況（オイルショック後の日本経済、昭和50年）にはならないとしても2年ほどのナベ底不況を覚悟しなければならぬと思うのです。その理由として設備投資がGNPの20%以上の期間が5年も続き、モノやサービスの供給力が増えていること金融機関の信用供与力が自己資本率規制の制限とこげつき不良債権の回収停滞のため締め気味が続く金利の実勢価格が下がりにくくなっていること、ソ連東欧など超インフレのため購買力をなくしている国が増加していることなどが考えられます。

景気がわるくなってきますと企業として一番最初に手をつけねばならないのは何と云っても債権管理です。回収不能の債権を抱えると金額によっては屋台骨が揺らぎかねません。次に経費の見直しであります。之は仲々むづかしいことで、やりすぎるとかえってマイナス効果を呼ぶこともあります。その次は販売とか在庫に関する管理であります。販売については売上志向から売上利益志向に全社員の意識変化を求めることが肝要と思います。売上志向は利益を落とす方向に作用しやすいものですから景気の悪い時ほどその方向にいきやすいのですが、もはやそんなことを続けていてはやっていけません。営業戦略がとて大切になってきました。卑近な例ですが建材用の銅板・条は金額に比してその利益額は微少であり取扱う商品の中でも最も悪い方の部類に入りますね。

之を加工品にして販売するにすれば利益率も利益額も良くなります。そういう意味で魁（さきがけ）もそんな商品の一つに入れて下さい。素材としては高くても内作コスト、現場施工コストを加え、材工費で考えれば、魁は工事店にとっても魅力ある商品であると信じております。

最後に手前味噌になり恐縮ですが正月のめでたい時のことゆえ、何卒お許し下さい。
本年が皆様にとって佳き年となりますよう、貴社の益々の御繁栄とご一同様のご健康をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

☆ 1月の魁基準価格は322円/kg、
価格帯1ランク下がり

91年12月の電気銅建値は 2～5日 350円、6～10日 340円、11～31日 330円と水準を下げ平均銅価は335円80銭でした。当月の電気銅建値は310円でスタートしました。従って1月の魁基準建値は $(335.80 + 310) \div 2 = 322$ 円90銭円未満四捨五入し322円となります。

この結果魁価格帯は300円超350円以下の価格帯となります。90年11月以降14ヶ月350円～400円の価格帯が続いていましたが92年の景況を象徴するかのようになり1ランクさがりました。

尚1月21日出荷分より新価格表に基づいてお願い致しますので、ご諒承賜わりますようよろしくお願い申し上げます。

☆ 1月21日より新価格でお願い

昨年12月の魁ニュースでご案内いたしましたとおり、今月21日より新価格表でお願い申し上げます。緑彩、硫化、カラスステンレス、カパーソフテンすべてにチョコボ吊子がつくようになります。

魁 ニュース

きょうは節分です。冬の節が終って春の節に移ります。寒があけるといって何となく陽気になってきます。

節分というと豆まきを思いますが、皆さん豆まきをなさいましたか。私も扉や窓を全部あけはなち『鬼は外 福は内』と思い切り豆をまきました。これは室町時代初期から現われた風習で、厄払いの仕方はそれ以前には違っていたようです。今でも地方によっては残っていますが、鬼や災厄が各戸に入りこまぬようと、にの強いイワシの頭のこげたのをひいらぎの枝にさしこんで、門口におくのが古いやり方で、くさい匂いで鬼が入ってこないようにと願ったのでしょう。更に古くは鬼の目にふれぬよう外出を避け、じいっと家の中でおこもりをしたそうです。私達の祖先は厄払いについても受け身から段々と積極的になったと言えます。豆を年の数だけ食べるとか、あるいは年の数以上食べるという風習がありますが子供の時と違って年の数を一度にたべるのがしんどい年になりますと、皆さんはどうしてらっしゃるのかお聞きしたくなります。

☆ 2月の魁基準価格は 317円/kgです

1月の電気銅建値は4～16日 310円 17～31日 320円で平均銅価は315円79銭でした。2月の電気銅建値は320円で始まりました。従って2月の魁基準価格は $(315.79 + 320) \div 2 = 317$ 円90銭となり、円未満切捨て317円となります。価格帯は前月同様300円越～350円以下の欄です。

☆ 銅価の見通しについて

景気の様子はバブルの崩壊で調整期に入っております。伸銅各社の受注は銅管等の例外もありますが、全般に落ち込んでおり不況色を深めております。アメリカの景気も未だ不況から抜け出る気配もなく、諸般の情勢から考えて銅価の上昇はまだまだ遠い先のことと思えます。しかし、幾つかの注目すべき材料があります。

- (1) 外貨獲得のため積極的に輸出をしてきた旧ソ連に高率の輸出関税案が登場してきている。
- (2) 旧ソ連の備蓄放出も在庫が底をつきだしたと推定され、91年度ほど自由世界に出でこないと考えられる。
- (3) 金利が低くなってきたことと価格水準から、商品ファンドが積極的な買いを入れている。
- (4) 主要生産国のザイールやザンビア国内に民主化の動きが広まり政情が不安定になってきている。
- (5) 中国が積極的にスクラップを手配しスクラップ市況が上昇してきている。

以上のようなことから景気の回復とは同調せず、価格水準訂正が景気回復より先行することが大いに考えられます。

魁 ニ ュ ー ス

いままで青いものを見なかった地上に黒い土をやぶり、または枯れた葉や茎のあいだから緑もあざやかな草の芽が、ぞくぞくと萌えだしてきました。沈丁花が咲き匂い、こぶしの蕾も大きく膨らんで春がもう間近にきていることを教えてくれます。

『いきいきと三月生まる雲の奥』 飯田龍太

皆さんの身近な人にいま、入院してる人がおられますか。どんなに健丈な人でも事故などで入院しなければならなくなることもありますし、まして老齢になりますとその確率は極めて高くなってまいります。入院すると必ずご厄介になるのが看護婦さんです。看護婦さんの不足が今大きな問題なっております。人手不足の問題はいずれも同じですが、人の生命に関わる職業である丈に無関心ではすまされません。看護婦には高校を卒業してから3年間看護学校に入り国家試験にパスして資格をとる正看護婦、中学校を卒業してから2年乃至3年の学習ののち知事試験を受けて資格をとる準看護婦、そして無資格の看護助手の三通りがあり、この人達は同じような服装で患者に対応しています。最初は正看護婦のみが看護婦であったものが戦後の医療の急激な拡大にあわせ人手不足になったため医師会の働きかけもあって昭和26年から『準看護婦』という資格ができ、いまや『看護助手』という無資格の人でも白衣を着て医療の現場で看護婦として働いています。

現在正看護婦42万人・準看護婦37万人・看護助手は未登録なので類推では30万人合計110万人前後といわれていますが都会の有名な公的大病院に集中し地方の大病院や都会の私立病院は慢性的な看護婦不足に悩んでいます。地方の小病院では看護婦不足のため入院患者を受け入れなくなり病院から医院へ名前を替えているところも目立って多くなりました。看護婦の仕事は6Kといわれています。①危険（感染などの不安）②きつい（夜勤を前提にしている）③汚い（排泄の介助等）④給料が低い（0.1に比べ給料は多いが夜勤手当や超過勤務手当を差引くと低い）⑤休暇が少ない⑥かっこうが悪い（白衣の天使は使命感と共にあこがれのものです。ここでいうかっこうが悪いというのは服装のことではなく看護婦という職業への社会的評価の低さです）

この6Kが若い女性の看護婦への志望を減少させています。今、日本は世界一の長寿国になりました。（昭和62年現在男子75才女子81才。因みに大正9年は男子60才女子60.5才でした。）ところが1日800万人以上の方が病院や診療所に行っていると言われます。使いやすい医療保険制度の整備で病院に行きやすくなっているのですが、高齢化社会に拍車がかかってきている日本の将来を想うとき、看護をする人の質の低下や絶対量の不足は社会問題として取り上げその解決に真剣にとり組むことが必至になってきているといえましょう。次代を背負う子供の教育にたずさわる教師と、老人がお世話になることの多い看護婦さんの仕事の尊さを社会が高く評価し、誇りが持て尚且つ収入も良いという職業にすることが大切に思われます。日本の将来を想う時この二つの職業を大切にしなければ明るい未来は期待できません。

☆ 3月の魁基準価格は 332円/kg です

2月の電気銅建値は1～18日 320円 19～29日 330円で平均建値は324円でした。3月の電気銅建値は340円でスタートしました。従って3月の魁基準価格は $(324 + 340) \div 2 = 332$ 円になります。価格帯は300円越～350円以下で変わりません。

魁 ニ ュ ー ス

2月は逃げ3月は去るというように月日のたつのは早いもので本年も早や4月を迎えました。桜だよりが聞かれはじめ大阪でもチラホラ咲きはじめてたところですよ。この分で行くと週末の4日から5日にかけてはいい花見が出来そうです。

公定歩合が0.75%下がり3.75%になりました。もうこれ以上下がりませんと下げ止まり感を出したのがミソであるようですが、金融の実勢を見るに、銀行の預金金利と貸付金利のサヤは88年～89年の低金利時代と較べて広がってきており、預金金利が公定歩合の下げより少なめに抑えられる見通しから貸出の実勢金利は0.5%下がるかどうかといったところでしょう。さて、低金利時代になったから景気回復のピッチが上がると期待したいところですがはたしてどうなるのでしょうか。

新聞等の論説では設備調整に90年代前半はかかるという見方も可成り強く出ています。山高ければ谷深しのたとえの如く、大型景気のとだけに、注射の1本や2本ですぐ効果が出てくるような景気回復は無理といえます。しかし、悲観的になったり弱気にならず、「旧共産圏の市場経済化などによって資本主義は90年代の後半から19世紀末に続く第2の黄金期を迎える」という米国の著名なエコノミストであるD.ヘイル氏の見ているように、今は次の繁栄のための準備期間だと受けとめて切磋琢磨することが大切ではないでしょうか。

☆ 4月の魁基準建値は340円/kgです

3月の電気銅建値は1～31日まで1ヵ月間 340円でした。4月も340円ではじまりました。従って4月の魁基準建値は $(340 + 340) \div 2 = 340$ 円となります。価格帯は 300円超～350円以下で変わりません。

☆ 4月17日（金）社内行事のため

臨時休業いたします

かねて建設中でありました東大阪センターが竣工し4月17日社内行事を催します。つきましては勝手乍当日を休日といたしますのでご高承賜わりますようお願い申し上げます。尚 東大阪センターにおける配送業務開始は5月6日を予定しております。5月6日以降は本社倉庫及び大阪金物団地内の東大阪倉庫の業務を廃止いたします。あらためてご案内申し上げますが何卒よろしくようお願い申し上げます。

魁 ニュース

五月一日は八十八夜。『夏も近づく八十八夜、野にも山にも若葉が薫り、あれに見ゆるは茶摘みじゃないか』と歌われるように この五月は菖蒲が咲き、初鯉が食卓にのぼり、鶉飼も始まり初夏の気配が日に日に濃くなってきます。鯉のぼりが青空に舞う爽やかなゴールデンウィーク、皆様には如何お過ごしになりましたか。お子様のお相手で疲れた方ゴルフ三昧で愉しまれた方、ゆっくりゴロ寝ときめつけられた方、新緑にハイキングなどしゃれた方 様々な過ごし方でそれぞれ休日をエンジョイされたことと思います。

私共はナント5月2,3,4,と3日間 倉庫の引越で大変でした。皆さんが愉しくやっておられる時、野暮な仕事で疲れました。しかし、このような時でないで倉庫の商品を動かすことなど出来ませんから致し方ありません。お陰様で5月6日から当社の本社倉庫及び大阪金物団地の東大阪倉庫は

東大阪市今米56-1 山内金属株式会社 東大阪センター
☎ 0729-64-1110 FAX 0729-64-1115

に集約され業務を開始いたしました。

営業及、総務は従来通りで変わりありませんが魁の発送元とパレットの返送先は今後、当社東大阪センターに変わりますのでお手許の住所録にお書き加え下さるようお願い申し上げます。営業と配送業務の場所は離れますがコンピューターオンラインで連絡を密にし従来以上に機動力を発揮するよう社員一同努力する所存でございますので、尚一層のご愛顧を賜われますようお願い申し上げます。

☆ 5月の魁基準建値は340円/kgです

4月の電気銅建値は1~30日まで340円が変わりませんでした。5月の電気銅建値も340円でスタートしましたので5月の魁基準建値は $(340+340) \div 2 = 340$ となり4月の基準建値とも同価格であります。

☆ 5月14日 佐賀市の全板大会に

出品します。

第44回全国板金業者大会が佐賀市で開催されますが、当日の展示会に当社も魁、タフ・カパー、緑彩 及び新製品の『段葺サキガケ12』を出品いたします。大会にいかれましたら是非 当社のブースにお立寄り下さいますようお願い申し上げます。

魁 ニュース

今朝、駅頭で通学する学生の制服が夏服に変わっているのに気付く、いよいよ夏の季節の到来かと思うと、むし暑さを連想し、満員電車の通勤が苦痛になります。クーラーの効いた車輦だと多少は助かりますが、クーラーの効いてない車輦がまだ結構走ってる地下鉄では、人息でむせます。背の低い人や子供等は一層苦痛でしょう。暑い時は思い切り汗をかく方が身体にはよいのかも知れませんが、クーラーの効いているところが増えてきたので、体調が崩れやすい環境になってきているのも困りものです。ホンコンシャツとかノーネクタイで、ラフなスタイルで消暑する光景も、最近では余り見なくなりました。省エネも言われなくなり、クーラーの普及もあつてでしょうか、夏でもスーツ姿できめている人が多くなってきています。昔は夏といえばあせもが出て、赤ちゃんなどは、てんかふん（ベビーパウダー）のご厄介になり、大人も風呂上がりにつけていることがありましたが、今頃はどうなのでしょう。暑さをしのぐ生活の知恵が生んだ、家庭の色々な風俗も、今はすっかり色あせ、季節感が乏しくなってきました。夏障子、すだれ、寝ござ、夏ぶとん、夏座ぶとん、うちわ、風鈴、蚊帳、蠅とり、蠅叩き、等々なかにはすっかり家庭から姿を消したものもあります。行水などしたことのある人は少ないでしょうし、言葉の意味を知らない人も多くなっていることでしょう。文明の進歩が生活のうるおいを消す、といえ少々大仰かも知れないけど、四季のうつろいが自然世界では変わりなく輪廻を続けているのに、私達の生活では四季感が乏しくなり、節目というか折り目のないさまに、一抹の寂しさを覚えます。今はただあわただしく過ぎる日々、昔日を懐かしく思い出すのは年のせいにすぎないのでしょうか。

☆ 6月の魁基準建値は335円/kgです

5月の電気銅建値は1～31日は1ヶ月340円で終始しました。6月の電気銅建値は、10円下がり330円でスタートしました。従って6月の魁基準建値は $(340 + 330) \div 2 = 335$ 円/kgとなります。魁価格帯は300円超え～350円以下の欄で、前月と同様です。

☆ 魁カタログの新刷が出来ました

本春価格改訂を機に、廃番になった商品もあり、それに伴う改訂版のカタログを新たに制作いたしました。ご用命は当社担当者までお申しつけ下さい。

☆ 空きパレットご返却のお願い

魁専用のパレットが不足しております。毎年補充しておりますが回収が滞りますと生産にも障害がでて大変困っております。空いたパレットは最寄りの運送便で着払いで即刻ご返送下さいませようお願い申し上げます。又少量しか入っていないパレットはご面倒でしょうが空けていただいてご返送下さいませようご協力をお願い申し上げます。

魁 ニューズ

6月は少々カラ梅雨ぎみでしたが、これからが本番で、梅雨らしくなるのでしょうか。やはり降るべきときには降って欲しいものです。

PKO法案の国会審議は、あらためて国政のことを考える機会を私達に与えました。民主主義が多数決で総意を決定することが基本である以上、反対が少数意見であれば、内容の譲歩や手直しを求めることで妥協せざるを得ないのだが、それを牛歩戦術（これは日本の特許だろうか）で徹底抵抗するさまは、おろかしく情けなく思えたのは私1人ではありません。民主主義の良いところに、社会主義や共産主義が個人の人権を軽視、乃至無視する特質を有しておるのに反し、基本的人権を重視することがあります。それが人間としての尊厳を認め、すべての人間が幸せや生き甲斐を求める欲求の実現に、努力する根源になっています。先進国の多くが民主主義であり、社会主義諸国が経済の停滞から国力が著るしく低下していることは、ソ連邦の崩壊や東欧の体制転換の動き、又中国経済の水準韓国半島の南北問題等で明らかであり、民主主義や資本主義は今日、世界の潮流となってきました。かかる事実を、マルクスの歴史観が錯誤であったことを証明しています。それでは民主主義が究極のものといえるかと言え、これはむづかしい問題で今後の歴史に問わねばならないでしょうが、ともすれば民主主義が混迷をもたらし、協力なリーダーシップを持つ指導者の登場を、待望する風潮を生む危険性があって、絶対のものとは言えない不安もあります。しかしもう後戻りはしたくないものです。反対意見が通らないとき、暴力的手段に訴えることもできず、牛歩戦術が世論へのアピール手段として選択されたと考えれば、今回国会で社会党のとった行動も、平和日本の象徴と受けとめ是としなければならぬかと思えます。テロや暗殺で政権を奪い合ってる国が多数ある地球上で、国会の赤い絨毯を沢山の牛が歩む光景は、平和の象徴であり、このような現象を、日本人として、大いに感謝すべきなのかも知れません。

☆ 7月の魁基準建値は341円/kgです

6月の電気銅建値は1～20日は330円 22～30日は340円で、平均銅価は333円でした。7月の電気銅建値は350円でスタートしました。従って魁基準建値は、 $(350 + 333) \div 2 = 341$ 円50銭となり円未満切捨て341円となります。魁の価格帯は300超え～350円以下の欄で、前月と同様です。

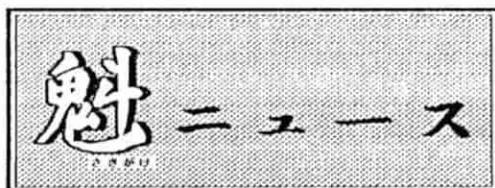
魁 ニュース

取扱説明書は、やさしくわかりやすいことが一番大切だが、読みにくく理解しにくいものが多い。とにかくややこしい。例えばファックス。私は原稿を送るだけだから、相手のFAX番号を押して、スタートさせるだけで事はすむのだが、やたら沢山のボタンがついている。どんな時に使うのか知らないから、使ったことはない。それでも用はすむ。受話器も、このごろのものは、ダイヤル番号以外に沢山の押しボタンがついている。中には便利なものもあるようだが、それにしても複雑で使い方を覚える自信はない。エレクトロニクス技術の進歩発展により、もたらされたのだろうが、どうしても頭に入れておかないといけないものは、何とかその操作方法を、覚えるように努力するが、それ以外の複雑なものは最初からご免蒙りたいと思っているから、取扱説明書を全部読む気など、はなからないのだが、それでもどうしても読まないといけない場合があるが、これが外来語の氾濫で読みにくくなっているものが非常に多い。外国語を日本語化する動きは、今に始まったことではなく、明治以降に始まるから、国語辞典にも数多くの外来語が、カタカナに置き換えられた形で日本語として定着しているが、コンピューターが普及するようになってから特に激増してきたように思うし、それも短縮化する表現方法があつて、何のこともさっぱり判らん話をする人もいる。

会社名も、この頃の流行かも知れないが、外来語化した社名にする会社が増えてきた。C. I (企業イメージの確立のこと) ばかりで社名変更が盛んである。これで飯を食つて人は商売繁盛で結構だが、商品名やブランドを商号化する動きはわかるが、凝りすぎたり ひねりすぎたり 外来語の頭や尻尾をあれこれくつつけたり切ったりして作られた会社名がかなり増えてきており、何を作ったり売っているのかさっぱり判らない社名も多い。そしてこれが又、今の若い人にはナウい会社というわけで、受けるらしい。国際化(グローバル化)時代だから、当然の流れ(トレンド)かも知れないが、いやはやわかりにくいことが増えてきている。

☆ 8月の魁基準建値は366円/kgです

7月の電気銅建値は1~8日は350円 9~16日は360円 17~31日は370円で平均銅価は362円17銭でした。8月の電気銅建値は370円で始まりましたので、8月の魁基準建値は、 $(362.12 + 370) \div 2 = 366$ 円06銭 円未満切り捨て366円となります。 魁価格帯は1ランク上がり350円超~400円以下の欄となります。 非鉄金属は銅に限らず亜鉛、鉛、アルミ等、商品ファンドへの資金流入や、アジアの需要増などにより、価格水準訂正の動きが見られます。魁の価格帯も今年前半は300~350円の価格帯が続いていましたが、後半は350~400円の価格帯が続くものと考えられます。



残暑お見舞い申し上げます。30℃を越す真夏日が続き、厳しい残暑が続いていますが、朝夕はだいぶ涼ぎやすくなり、秋の近いことを感じます。今年の夏は景気が悪いことを映して、長い休みをとる企業が多く稼働日数が少なかったせいか、格別に物の動きが悪かったようです。ようやく政府が10兆円規模の景気対策を発表しましたが、重病になってからの治療と同じで、その効果が出てくるにはまだまだ時間がかかるでしょう。土地や株などの資産デフレで金融システムが崩壊し、大恐慌になる心配はどうやら回避できそうな感じがしてきました。しかし山高ければ谷深しと言われる如く、まだまだこの不況は続くでしょう。業績不振による倒産が本格化するのはいずれからです。銀行が選別融資の姿勢をとり続けざるを得ない状態にあり、企業淘汰はこれからが本番と言えます。攻めることも大切ですが、今日のような厳しい環境では、守りを堅めエラーをしないようにすることがより大切になってきました。与信のチェック、冗費の節減、経費のチェック等、しなければならぬことは山積しています。

☆ 9月の魁基準建値は357円/kgです

8月の電気銅建値は1～13日は370円14～31日は360円で平均銅価は364円28銭でした。9月の電気銅建値は350円でスタートしました。従って9月の魁基準建値は(364円28銭+350円)÷2=357円14銭円未満切捨て357円となります。価格帯は350円超～400円以下の欄で前月と同じです。

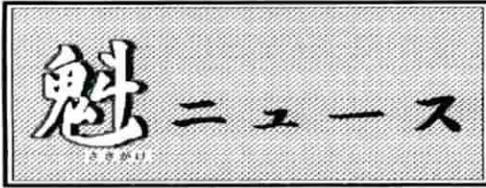
大塚グループの創業者、大塚正士氏が週刊ダイヤモンド9月5日号の「照る日 曇る日」に、大変ユニークな意見を述べておられ、共感を覚えたのでご紹介申し上げます。

〔一部省略〕

このごろは就労2000時間を時短で1800時間にするんだと言っていますね。その昔私のおやじ大塚武三郎はいつも私にこのように言っておりました。「正士よ、人間は200メートルでも一生懸命走ると苦しいんだ。1000メートルでもソロソロ走るとくたびれることはないよ。」と。私もその通りだと思いますね。無理に時短をするよりは、時間をかけて逐次改正し、時短よりも先に給料、賞与の大幅値上げの実行が望ましいですね。特にいわゆるブルーカラーの給料値上げを行なって、外国人労働者の入国制限を厳しくすべきですよ。外国人労働力は物資の中に一緒に入ってきているわけですから「商品輸入」によって解決すべきですよ。人そのものは入れるべきでないですよ。外国人労働者の入国はやがて日本国を滅ぼしますよ。歴史に幾らでも実証があるでしょう。カルタゴでも、ローマでも、近くはドイツでも、国民が3Kの仕事を嫌って、心驕れる国民に次第に変貌していくからです。また犯罪の危険も目に見えておりますよ。昨年1年間の外国人犯罪件数はおよそ1万8000件です。

外国人労働者を入れない代わりに物資を輸入する。時短は急がないで先ず給料、賞与を大幅値上げすること。個人所得税を引き下げること。引き下げても所得が上がっているから政府の税収入は変わらないですよ。ヘンリーフォード1世の基本をすすむのです。高賃金こそ実需を増大するのです。公定歩合引下げだけでは、副作用が出て効果に疑問がありますよ。「馬鹿いいなさんな大塚さん、今期利益が半分になっているのに」としかられますけどね。

これでこそ健全な国内購売力は増大し、輸入もまた増大する。原価高となって輸出は少し減少するから、それでちょうどよい格好に調整がとれますよ。これで八方うまくいくように思いますね。今までのように無制限に生産して、無制限に輸出していくことは、あまり全世界の人々の幸福に役立つとは思えませんね。横やりばかり出てきていますものね。息せき切って生産力増大に走る日本経済ではいつの日かガックリきますよ。世界の消費には限度と速度というものがありますよ。まあ今後どのような景気が続くのか？株は下がり不動産も値下がりして、バブルの崩壊で経済界も欲ぼけの二日酔いから醒めて正しい姿に戻りつつあります。企業も大切ですが、政府も「先づ国民ありき」と考えてほしいですね。



「木犀が 匂う 蔭より 日向より」 (古屋秀雄)

道を歩いていると、そこはかたなく金木犀の香りを感じる。金木犀は花芽をつけたばかりの頃からほのかな匂いがするが、蕾のころが一番香りが強く、散り際になるともうほとんど匂わなくなる。風が運んでくる匂いがすると、どこに樹があるのかと思わずあたりを見回す。ほんに季節を感じさせる香りだ。

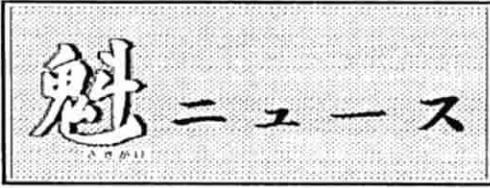
季節の香りといえば秋の味覚 松茸を思いだす。この松茸が日本ではほんとうに獲れなくなってしまった。山の手入れが行き届かなくなったこともあろうが、やはり酸性雨の影響が一番大きな原因ではなかろうか。昨今、私達が目にしたり口に入れている松茸はほとんど輸入物らしい。北朝鮮やカナダ等から入ってくるらしいが、先日近くの寿司屋で匂いをかがしてもらったが、あの松茸特有の香りが実に薄い。高価な松茸も匂いがなかったら半分の値打ちもないと思う。この頃は人工の香りをつけたりするとも聞くが、人工の香りといえば紅灯の巷の女性は例外なく化粧が濃い。化粧品には香料がふんだんに使われているから、化粧の香りが嫌な程鼻につくこともある。しかしこの濃い化粧は、彼女たち夜の戦士にとっては極めて大切な武装なのだ。この匂いで世の多くの男性はアルコールのせいも大いにあるが、おかめを美人と錯覚してしまうのだ。もし彼女たちが香料の全く入っていない化粧品を使ったら、錯覚する男性が減り、売り上げが減りペンペン草が生えてくるだろう。

香りが人間の五感に与える影響はなかなかのものである。最近エコロジーという活字をよく眼にする。エコロジーとは生態学のことで、生態系を中心に動植物と環境との関係を研究する学問であるが、環境と人間の関係で職場の環境がそこに働く人々に及ぼす影響を考え、アメニティ（快適さ）な環境作りをする産業をエコロジー産業とかアメニティ産業と言っている。例えば大手建設会社がオフィスビルに森林の香りとか花園の香りをほのかに醸し出す装置と香料の販売をするなど新ビジネスが生まれてきている。これもいい香りが人間に快適さを覚えさせる効果を狙ったものなのだろう。

秋は野山を散策し、自然に触れる絶好の季節です。松茸は生えてませんが、森林浴という素敵な自然の恵みがあります。精一杯鼻を広げて、おいしい空気と森林の香りを吸いに行きませんか。

☆ 10月の魁基準建値は 337円 / kg です

9月の電気銅建値は1～22日は350円24～30日は330円で推移し、平均銅価は345円でした。10月の電気銅建値は330円でスタートしましたので10月の魁基準建値は $(345 + 330) \div 2 = 337.50$ となり円未満切捨て337円となります。従って魁価格帯は1ランク下がり350円以下300円超の欄となります。電気銅建値の下がりの原因は、不景気による実需の不振ということもありますが、一番大きな原因は円高です。



数年前、10月上旬に石川県の白山スーパー林道へ行った時、紅葉が全山を錦のごとく飾るあまりの美しさに思わず大きな歓声をあげたが、今年は先月10日頃、北海道の道南地方へ行く機会があり、内地より1ヵ月早い紅葉を賞でることができた。関西はこれからが本番で、今年は昨年と違って美しい紅葉に恵まれそうだ。しかし秋は万物芽吹く春と違って、11月の晩秋ともなると、枯葉が舞い空気も冷たくなり、無性に心寂しく人恋しくなるものだ。こんな時は家に閉じ籠もっているとどうもよくない。小春日和に恵まれたら少し厚めに着込んで、精々外の空気を吸いに行くのが、精神衛生上もよいのではなかろうか。最近では、二世帯や三世帯の同居が少なくなり、子供が独立すると夫婦二人きりになる家庭がおおい。亭主は仕事で外に出てしまい二人が揃っていることは休みの日しかない。亭主がゴルフともなれば、主婦はあけてもくれても1人きりということになる。余程精神的にタフでないとおれるものではない。最近どこへ出かけても、オバさんのグループが目立つが、何かをして生き甲斐を持つことが老後の健康には何より大切なことだから、これはこれでいいことだし、必要なことだと思う。

今や、日本は世界の最長寿国となり、平均寿命は男子76歳 女子82歳となった。因みに明治24年は男子43歳 女子43.5歳、大正9年男子60歳 女子60.5歳であった。従って、平均寿命が近年に著しく伸びたことはこれからも明らかである。

65歳以上の老人の占める割合が11.6% (1989年)で、2020年には23.6%になると予測されている。4人に1人が老人ということになる。

さて、働き手が減って、年金暮らしでのんびり余生を楽しもうと思う人が増えてくるのだから、これがそのまま日本経済の姿になってしまうと大変困ったことになるのだが、このことは別の機会に譲るとして、平均寿命から自分の年令を引いて、あと何年の余命と計算するのは間違いで、この余命にも平均余命というものが凡その目安になるようだ。(表参考) 皆さん表を見て、ご自分の余命をはじきだされたご感想は如何ですか。思ったより長いなあと思いませんか。

私の場合、凡そ22年ほどの平均余命がある。オギャアと生まれ大学を卒業するまでの時間があることになる。となると、今までの延長

のままいたずらに齢を重ねていくのでは、いかさまもつたいないと思う。これからの人生設計をあらためて画いてみたい思いがつのり、何となく元気が湧いてくる。

主な年令の平均余命

年 令	男 子	女 子
45歳	32.91年	38.11年
50	28.38	33.40
55	24.07	28.80
60	20.04	24.31
65	16.22	19.95
70	12.66	15.82
75	9.52	12.00
80	6.91	8.67
85	4.92	6.02
90	3.44	4.02

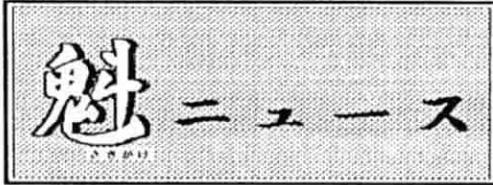
高齢化社会基礎資料年鑑'90/'91年版

☆ 11月の魁基準建値は320円/kgです
10月の電気銅建値は1～5日は330円6～31日は320円で平均銅価は321円36銭でした。11月の電気銅建値は320円でスタートしました。従って11月の魁基準建値は $(321.36 + 320) \div 2 = 320$ 円68銭となり円未満切捨て320円となります。魁価格帯は300円超350円以下の欄で先月と同じです。

☆ 段葺きルーフサキガケ 12

価格表ができました

ジョイント・カバーレス工法の段葺きルーフ サキガケ12の価格表が出来ましたので、一部同封お送り申し上げます。銅板のほか、カラーステンレス、フッ素カラーステンレス、カラーアルミ等、幅広い素材に対応します。制振材と断熱材を裏貼りしたSLタイプもごさいます。お問い合わせやお引合いを賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。



92年も師走の月に入り、まもなく新年を迎えようとしている。90年にバブルが崩壊し不況に突入したが、景気は回復の兆しすら見えず、益々混迷の度合いを深くしてきた。設備投資は減少の一途を辿り、個人消費も急速に冷えてきている。日本経済の発展を担ってきた自動車産業や弱電産業も、今日までの路線を踏襲していくことが許されなくなり、大きな転換を迫られている。リストラクチャ（再構築）すなわち新しい時代への適応力を問われる時がきた。企業だけでなく個人の生活にもリストラクチャが必至になってきた。日本の経済のパワーを内外から鼓吹されその気になっていたが、本当の力はどうか、冷静に見直すべき時代に入ったと思う。世界の秩序も混迷の度合いを増すばかりだ。米ソ二大国の冷戦による緊張で保たれていた秩序や均衡も、ソ連邦の解体により崩れ、国家の分裂や民族抗争が多発し世界秩序は混沌としてきた。世界をひとつに束ねる秩序が求められるところであるが、米国による単極覇権も現在のアメリカの国力では期待できない。国連を中心に新しい世界秩序の構築という主張もあるが、やはり国家主義や地域主義が阻害し、多くを期待することは無理である。混沌としてきた世界のなかで、リーダーシップの一翼を担うべく期待されている、日本の経済力も失速してきた。政局も自民党の分裂と多党化の兆しが出てきており、秩序が崩れんとしている。果たして世界はどうなっていくのか。その中で日本はどうなっていくのか。不安が広がってくる。

私達は混迷のうちに93年を迎えるが、やはり着実に足下から固めていかねばならない。まず家庭の秩序を壊さぬこと。家族が健康で仲良く暮すことが基本である。そして会社においては繁忙時にはしたくてもできなかったことが結構あるが、いまはそういったことをするチャンスである。足下を固め、小さなことをひとつひとつ積み重ねていくうちに、おのずと力がついていくのだ。「山高ければ谷深し」とか「冬きたりなば春遠からじ」というように自然の摂理は輪廻するのだから耐えて待つものには必ず春が訪れるであろう。この一年、皆様には一方ならぬご愛顧を賜わり誠にありがとうございました。心から厚くお礼申し上げます。みなさまお揃いでよき新春をお迎えくださいますよう心よりお祈り申し上げます。

☆ 12月の魁基準建値は316円/kgです
 11月の電気銅建値は1～9日は320円10～30日は310円で平均銅価は312円63銭でした。12月は320円でスタートしましたので魁基準建値は $(312.63 + 320) \div 2 = 316$ 円31銭となり円未満切捨て316円です。魁価格帯は300円超350円以下の欄で変わりありません。

☆ 年末年始休業のご案内

12月29日より1月4日まで休業させていただきます。路線便による年内最終出荷日は12月26日（土）です。新年は5日より平常通り営業いたします。